



「リスキュー」いっしょにあそぼ!



たくさんの家族連れで大賑わい



「きよっち」と、ハイ!ポーズ!!



焼そば調理班大忙し!



はいっおまけだよ! 飽すくい



焼き鳥販売も好調



焼そば美味しいよ~!



煙い中焼き鳥班お疲れ様



飲料販売コーナー



フラッシュキッズによるオープニング

第7回 町連 秋まつり



2Fの食事処も来場者でいっぱい!



バナナのたたき売り



型抜きを楽しむ子ども達



それっぽい! 輪投げ



えいっ当たれ! ストラックアウト



はしご車
試乗体験



スケルトン
ごみ収集車



放水体験



パトカー試乗



ピエロによる
バルーンアート

9月28日(日) 快晴の中10時より、里・美地区センター内外で第7回里・美町連秋まつりが開催されました。

オープニングセレモニーでは、マーチングバンド「フラッシュキッズ」の演奏でスタート。

屋外では、ヨーヨーつり、くじ引き、焼き鳥などの縁日コーナーや、パトカー試乗、はしご車試乗、放水、ゴミ収集スケルトン車へのゴミ捨てなどの様々な体験が行われ、多くの親子連れが楽しんでいました。

屋内では、ゲームやクイズ大会などの他、野菜販売やカレーライス・うどんの飲食コーナーなど、多くの人で溢れていました。

約920名の人々が訪れ、会場内は最後まで秋まつりを楽しむ人で賑わっていました。



第17号 2014.12.25 発行

里塚・美しが丘
地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内
電話 011-884-1210



無念っ!!の準優勝…

壮年野球大会

美味しいトウモロコシとゲーム&ウォーキング
ビンゴ大会がお楽しみ!

8月24日(日)、清田公園グラウンドにて第17回清田区壮年野球大会が行われました。

里・美地区チームが一番くじを引き、開会式の選手宣誓は、山本孝司選手(コロナード美しが丘町内会)。シード権も得て2回戦から登場。一点差で清田地区チームとの試合を勝ち上がってきた区役所チームとの対戦となりました。一進一退の攻防の中迎えた最終回、岡部清光選手(羊ヶ丘通町内会)のサヨナラヒットで6対5と勝利し、決勝へと進出。その勢いに乗り優勝へ…の思いとは裏腹に、準決勝での激闘で既に決勝を戦う力は残っておらず、前年優勝の清田中央地区チームに2対9と大敗し「無念の準優勝となりました」との、米沢清明監督(桂台町内会)のコメント。

選手の皆さんお疲れ様でした。準優勝おめでとうございます。来年こそは優勝を目指して頑張ってください。

今年から、スタートとゴール地点を里・美地区センターに変更した第18回ゲーム&ウォーキングが9月7日(日)、あいにくの小雨交じりの朝でしたが、天候も徐々に回復し、88名の方々が参加し開催されました。

約5kmを歩きゴールした皆さんは、飲み物を受け取り、女性部の方々が調理した茹でたてのとうもろこしを美味しく頬張りながら一息つきました。

そしてビンゴ大会では、読み上げられる数字とビンゴカードの数字を真剣に照らし合わせて「やった。あった!」「えっ、ああ…」など、一喜一憂する声が挙がり、盛り上がっていました。

来年度も9月6日(日)に開催する予定となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

一円玉募金

今年度も清田区女性部連絡協議会の一円玉募金にご協力頂き有難うございました。

11月28日(金)、里・美町連女性部長会議の折に集計させていただき、当地区では325,940円もの善意が、清田区全体では1,568,229円にのぼる善意が寄せられました。

12月10日(水)清田区役所において、社会福祉協議会等へ贈呈させていただきました。

女性部研修会

10月17日(金)、清田区第2地域包括支援センター社会福祉士の東出裕之様・渋井敦子様をお迎えし、認知症

- サポーター養成講座を開催しました。はじめに包括支援センターの役割についてお話し頂いた後、① 認知症はどんな病気か(老化による物忘れと認知症の違い) ② 認知症の診断や治療(早期診断、治療が大事) ③ 認知症の方を介護する家族の気持ち ④ 認知症の方に接する時の心構え

以上のことについて分かりやすく講話頂きました。

札幌市で暮らす65歳以上の方の10人に1人、80歳以上の方の4人に1人は認知症と言われています。認知症サポーターとして認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、安心して暮らせる地域づくりのお役に立てるよう参加者一同、心を新たにしました。



～交通事故死ゼロ1006日(平成26年10月31日現在)～ 交通安全街頭啓発

夏の街頭啓発

7月17日(木)、国道36号ブックオフ美しが丘店付近で約130名が参加し、ドライバーに向けて交通安全を呼びかける街頭啓発を行いました。

また、同日里塚緑ヶ丘町内会の約50名の方が、厚別東通と里塚1号線の交差点付近で、そして、ライブヒルズ町内会の約30名の方が、平岡公園小学校前付近で、それぞれドライバーと子どもたちなどの歩行者に交通安全の呼びかけを行いました。

秋の街頭啓発

9月22日(月)、羊ヶ丘通のフードD美しが丘店、ジンギスカンかねひろ羊ヶ丘通店付近で約120名が参加し街頭啓発を行いました。この日は同地区内の日北交通(株)の社員の方や同地区内で札幌新道の工事を施工している杉原建設(株)の職員の方も参加して行いました。



また、同日ライブヒルズ町内会でも約20名の方が交通安全の街頭啓発を行いました。9月26日(金)には、里塚緑ヶ丘町内会の住民の方と三里塚小学校4年生の児童が厚別東通で、交互に並んで「スピードダウン」「シートベルト着用」の旗などでドライバーに交通安全の呼びかけを行いました。

交通事故防止総決起集会・街頭啓発

11月11日(火)、清田区役所前市民交流広場で「清田区交通事故防止総決起集会」が開催され、清田区災害防止協力会、各地区町内会連合会など14団体から565人が参加しました。新谷区長や豊平警察署長が「さらに気を引き締めて、皆さんとともに交通安全の啓発に力を入れていきたい」「地域においても交通安全を呼びかけ、一日でも長く交通事故死ゼロを継続しましょう」など冬期間の交通安全と清田区交通事故死ゼロのさらなる記録更新を呼びかけました。

集会後、参加者は国道36号に移動し、車道沿いに整列して街頭啓発を開始。「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた黄色い旗を手に、ドライバーへ安全運転を呼び掛けました。

～災害に備えて～防災・防犯部施設見学

9月1日(月)、防災・防犯部の施設見学会が各町内会・自治会の防災部長ら30名が参加して開催されました。札幌市消防局通信指令室と札幌市民防災センターを視察し、消防活動をサポートする最新のICT(情報通信技術)を駆使した「消防指令管制センター」の見学と津波や土砂災害などの映像による仮想体験、風速30mや震度7の揺れを体感する模擬体験をしてきました。参加者からは想像していた以上に災害の恐ろしさを感じたなどの感想がありました。



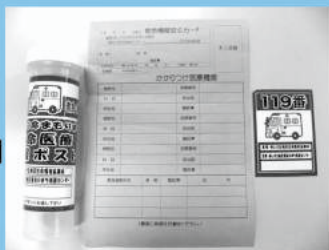
～福まち推進センターより～ 健康保持 日帰りバス旅行

7月24日(木)、健康保持・日帰りバス旅行が開催されました。ひとり暮らしの高齢者の方など約90名が参加し、新冠町の「レ・コード館」に行きました。「レ・コード館」では「川の流れのように」、「恋の町札幌」、「知床旅情」、「恋のバカンス」とレコードによるミニコンサートを聴くことができました。その後は参加者が2班に分かれて昼食をとり、お隣同士で楽しく歓談して過ごしました。帰りには道の駅「サラブレッドロード新冠」、「花ロードえにわ」に立ち寄り、お土産などのお買い物をして楽しみました。



救命医療情報ポスト配布意見交換会

9月26日(金)、救命医療情報ポスト配布に関する意見交換会が開催されました。平成23年度から里美気にかける運動高齢者サポート事業の一環として、里・美地区に居住する70歳以上のひとり暮らしの高齢者の方々と80歳以上のふたり暮らしの高齢者の方々が、病気やケガなどにより、緊急時に本人の情報を確認できないときの「円滑な救急活動」や、震災時の「円滑な安否確認」に繋げることを目的に、救命医療情報ポストを配布するもので、これまでに206名の方々に配布しています。意見交換会では「救命医療情報ポスト配布のご案内」、「ポスト配布申請書」、「救命医療情報安心カード」、「ポスト・各種ステッカー」などについて説明がありました。



里・美地区 平岡地区 福まち交流会

10月23日(木)、里塚・美しが丘地区と平岡地区の両福祉のまち推進センターによる交流会が行われました。この交流会は清田区内では初めての試みで、「見守り・訪問活動」を進めていくために、隣接する両地区の活動の情報交換を行うことで、両地区の今後の福まち活動の参考にとり、ということで福祉推進員約60名の方が参加して開催されました。交流会では9グループに分かれ、各テーブルで「見守り・訪問活動」などについて活発な意見交換がなされていました。



平成26年度 各表彰

地域の発展にも貢献した2名の方が、春・秋の叙勲でそれぞれの功労に対して表彰されました。

春の叙勲 瑞宝単光章(消防功労)
平成26年4月29日付発令
土門 一夫氏
(元里塚・美しが丘町内会連合会副会長)

秋の叙勲 瑞宝双光章(教育功労)
平成26年11月3日付発令
小山内 國行氏
(前美しが丘三番街自治会会長)

青少年健全育成に貢献された方及び、札幌市民憲章実践に貢献された個人・団体に対して表彰されました。

札幌市優良青少年及び青少年育成者表彰(育成者の部)
佐々木 勉氏(里塚・美しが丘地区青少年育成委員会副会長)

札幌市民憲章実践者表彰(個人)
小野 靫彦氏(前美しが丘団地自治会会長)

札幌市民憲章実践者表彰(団体)
札幌市三世代交流協会・清田ライラックの会
気田 好子会長(桂台町内会在住)



佐々木 勉氏

小野 靫彦氏

清田ライラックの会

～地域の眼～ 子どもを見守る会

7月16日(水)、里・美地区センターにて、「里・美地区子どもを見守る会」が開かれました。毎年夏休み前に、町内会・少年補導員・警察署・幼小中学校・区役所などの子どもたちの育成に関わる方々と、活動報告や情報共有を今年は102名の参加で行われました。

青パト隊の大形隊長より、見守り活動における「地域の“眼”(まなこ)」の大切さについてお話があった後、学校や各団体からそれぞれの活動や地域の様子について発表がありました。中央通交番片山所長からは「子どもたちはパトカーを見ると挨拶をしてくれる。これは子どもたちがちゃんと成長している事だと思います。」とお話があり、生活安全課寺島様からは、「地域パトロールは、犯罪者に対して抑止力になっている。」と評価されました。見守り活動を積極的に行っている里・美地区であり、「地域の眼」の大切さを再確認し終了しました。



* * * 地域トピックス * * *

里塚緑ヶ丘町内会 創立30周年

里塚緑ヶ丘町内会が、昭和60年(1985年)4月の創設から平成26年(2014年)の今年、創立30周年を迎えました。里塚緑ヶ丘町内会の地は札幌東部丸友タウン「緑ヶ丘」として宅地開発が行われ、昭和58年から入居が始まりました。創設当時の昭和60年4月は110戸の戸数でしたが、その後も宅地開発は順調に進み、平成21年頃には1,000世帯を超えるまでになりました。その間、平成8年には豊平区から分区して清田区が誕生し、平成10年には地名が現在の清田区里塚緑ヶ丘に変更となっています。現在(平成26年1月1日)では1,052世帯、人口約3,500名で里・美町連の中で3番目に大きい町内会となっています。

この設立を記念して、平成26年8月25日には里塚緑ヶ丘町内会創立30周年記念誌「みどりが丘」も発行されました。

同町内会の益々の発展と、さらに住みよい街になっていくことを願っています。



平岡中学校 開校30周年

11月21日(金)、平岡中学校「開校30周年記念式典」が行われました。司会の女子生徒の進行で、いつもは斉唱している校歌を、開校当時の合唱で歌い、素敵な歌声とピアノの音色で式典は始まりました。

記念講話は、「開校当時の思い出」と題して、庄司達郎先生のお話を聴きました。開校から2年間は3種類の制服(北野中、清田中、平岡中)が入り混じり、1学年11~12クラスもあったそうです。そんな延べ8千人以上の生徒をずっと見守り続けているのが、玄関前の「マロ二工の並木」だそうです。

式典の締めくくりは、3年生の合唱「さくら」でした。



同校の益々のご発展とご活躍を願っています。

平岡公園小学校 開校20周年

~夢に向かって 歩きだそう 心を一つに~

12月5日(金)、平岡公園小学校「開校20周年記念式典と祝う会」が行われました。

記念式典では、来賓の方々のお話を椅子に深く座り、背筋を伸ばして聴いている児童の姿が印象的でした。

児童による祝う会では、校歌を作詞された酒井正俊初代校長に「校歌に込めた思いはなんですか?」と児童がインタビューをすると「それは、桜の花が大好きで、やさしい思いと豊かな心をずっと持ち続けて、世界中で活躍してほしいなあと思い、書きました」と答えられました。その酒井元校長の前で感謝の気持ちを込めて校歌を歌いました。「うつくしい心、つよい心、やさしい心、かがやく心」を持っている公園小の子どもたちの祝う会の最後は、「明日を信じて」の全校合唱で終わりました。

同校の益々のご発展とご活躍を願っています。

第67回 全日本合唱コンクール 金賞受賞
第81回 NHK全国音楽コンクール 銅賞受賞

札幌市立真栄中学校合唱部 部長 佐藤 美雪

私は真栄中学校合唱部で、3年間たくさんの経験をさせていただきました。毎年演奏する機会があることは、本当にうれしく思います。

今年は3年生が4人しかいなかったため、思うようにいかに悩むこともありましたが、それを乗り越えたからこそ、全国のステージに立つことができたと思っています。

3年間続けてきて、歌の力はすごいなと感じました。自分たちの演奏で感動してくださる姿を見ると、本当に歌ってきてよかったと思います。

そして、部長として頼りない面もあった私についてくれた仲間には、感謝の気持ちでいっぱいです。

ここまで貴重な体験ができたのは、仲間の力だけでなく、先生方、OB・OGや家族、地域の方々のおかげです。

これからも真栄中学校合唱部の応援をよろしくお願いいたします。



2014.9.6-7 NHK全国学校音楽コンクール 札幌市立真栄中学校合唱部



編集後記

この「さとみ」を発行するにあたり、編集会議を幾回も開催していますが、次回の日程を調整する度に、今年も1月を見ては、今年ももう少しで終わる、不安感なのか何となく、気持ちにならず、何となくこの時節になると、あれもこれ、これも、あんなに落ち着かない、ただ、先走り、心なしか、でも、少し立ち止まることも、また、進むことも、と、大切なお話では、ない、そう、いったこと、で、今年の年末年始、は、いつもの年と違って、気持ちで、過した、年末年始、多忙なスケジュールで、無理をされると、体調を崩してしまう、と、ご注意ください。

広報部
部長 北村 篤介
副部長 南部 由貴恵
副部長 奥谷 典子
オザハ 村上 文章